



砂川市住民ニーズ把握調査

アンケート調査結果

(1) 調査目的

砂川市の新たな公共交通の必要性を検討するにあたり、砂川市民の現状における交通実態や新たな公共交通における住民ニーズを把握することを目的

(2) 調査対象

砂川市内の下記地区から1,500世帯を無作為抽出

- ◇富平地区 ◇空知太・中地区 ◇北光地区
- ◇一の沢地区 ◇吉野地区 ◇西豊沼地区
- ◇東豊沼地区 ◇市街地・南地区

(3) 調査実施日

配布日：平成25年10月17日(木)～19日(土)
回収期日：平成25年10月31日(木)

(4) 調査実施方法

アンケート調査票を世帯に郵送配布し、郵送にて回収

(5) 調査内容

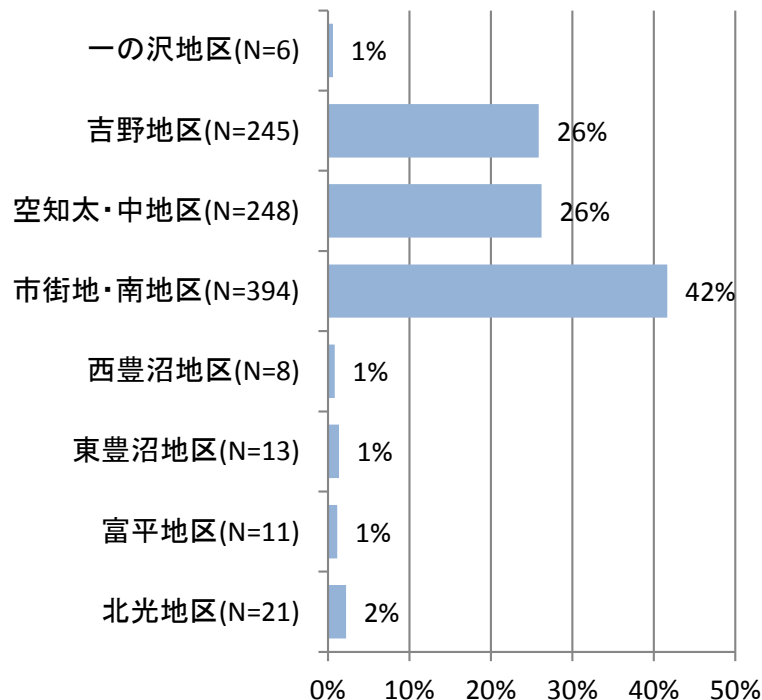
調査項目	設問項目	集計・分析内容
個人属性	<ul style="list-style-type: none"> ▼性別、年齢、職業、住所、家族構成 ▼自動車免許の保有状況 ▼自由に利用できる車の有無 ▼自動車運転困難時の交通手段について 	<p>■各属性別や他調査項目とのクロス集計を行い、年齢別(特に高齢者)や地区別特性分析を行う。</p>
交通行動について (通勤・通学、買物、通院)	<ul style="list-style-type: none"> ▼主な交通手段(夏期・冬期別) ▼外出頻度 ▼外出する曜日 ▼外出・帰宅する時間帯 ▼施設での滞在時間 ▼目的地(具体的施設名) 	<p>■砂川市民の通勤・通学、買物、通院時の交通行動を把握し、新たな公共交通の詳細な運行計画の検討(運行ルート、運行頻度、時間帯等)を行う。</p>
バスの利用状況について	<ul style="list-style-type: none"> ▼バスの利用頻度 ▼バス交通の問題点 ▼バス交通の問題点が改善されたときの利用可能性 	<p>■砂川市民のバスの利用状況等を把握し、住民ニーズを踏まえた調査運行計画の検討を行う。</p>
9月実証調査運行について	<ul style="list-style-type: none"> ▼9月実証調査運行の認知具合、利用状況、利用意向 ▼9月実証調査運行の満足度 ▼9月実証調査運行を利用しない理由 ▼9月実証調査運行を利用しない理由が改善されたときの利用可能性 	<p>■9月実証調査運行の利用状況を把握し、住民のニーズを踏まえた新たな公共交通の詳細な運行計画の検討を行う。</p>

(1) 回収状況

アンケート調査の封筒回収数は、617通(回収率:41.1%)となっている。
 また、アンケート調査票の回収数は、973票(回収率:32.4%)となっている。

封筒			アンケート調査票		
配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
1,500	617	41.1%	3,000	973	32.4%

平成25年10月31日現在

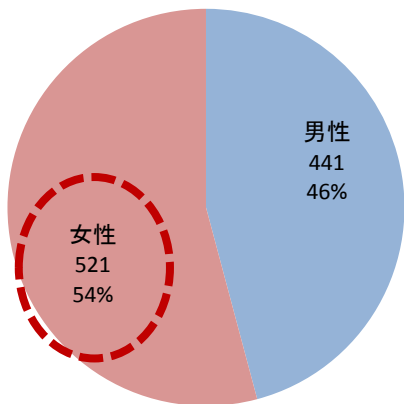


▲回収状況
 N=946

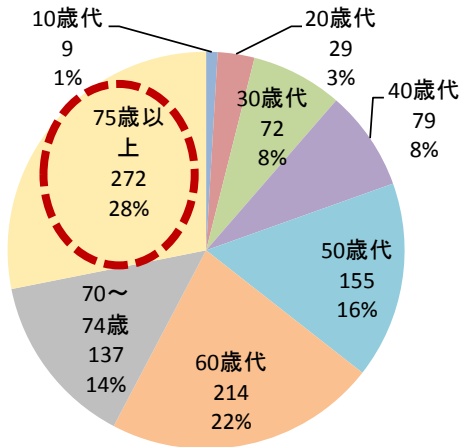
2. 調査結果

(2) 個人属性

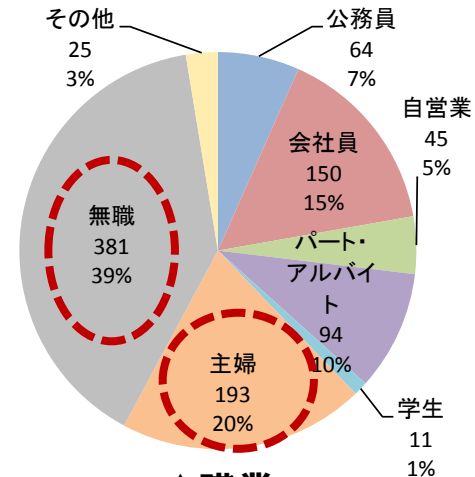
- ◆性別では、「女性」が54%と多く、年齢では「75歳以上」の回答割合が28%と高くなっている。
- ◆職業では「無職」が39%と最も高く、次いで「主婦」が20%と高くなっている。
- ◆家族構成は「夫婦のみ」が43%と最も高く、「二世世代同居(子と同居)」も高くなっている。



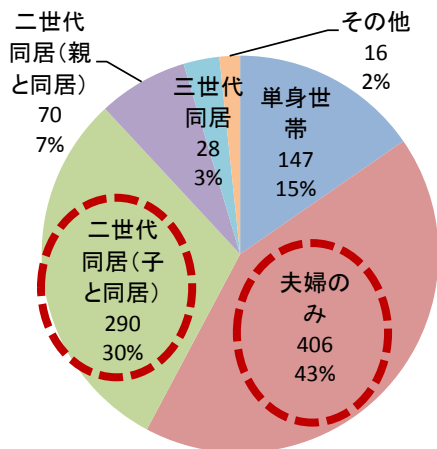
▲性別
N=962



▲年代
N=967



▲職業
N=963

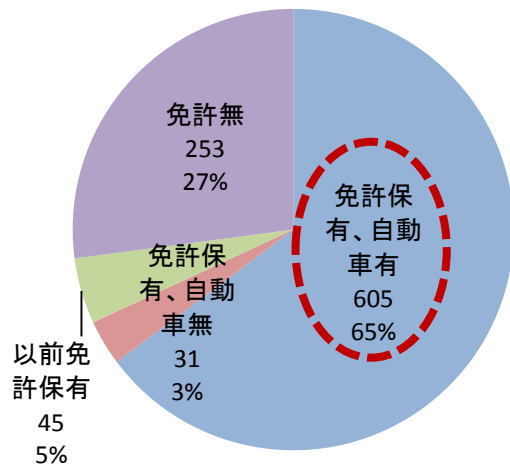


▲家族構成
N=957

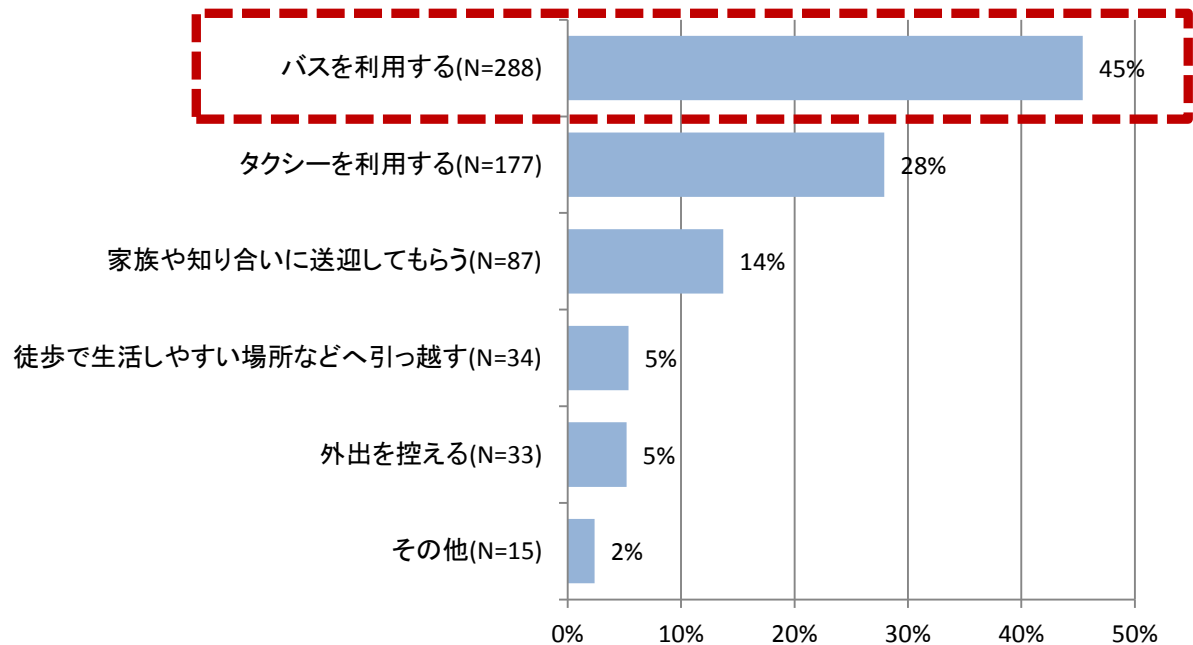
2. 調査結果

(2) 個人属性

- ◆自動車免許・自動車の保有状況としては、「**免許保有、自動車有**」と回答した割合が**65%**と最も高い。一方で、「免許無」と回答した割合も27%と高くなっている。
- ◆「免許保有、自動車有」と回答した回答者の運転が困難になった場合の移動手段としては、「**バスを利用する**」が最も高く、**45%**となっている。



▲自動車免許・自動車保有状況
N=934

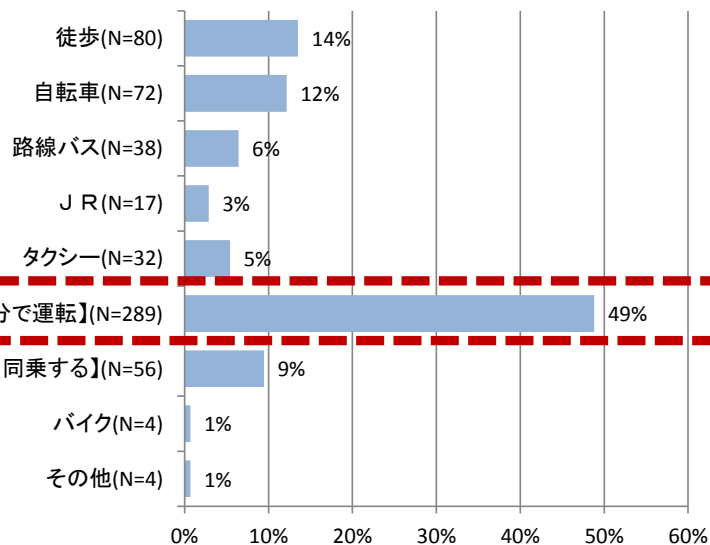


▲運転困難時の移動手段
N=634

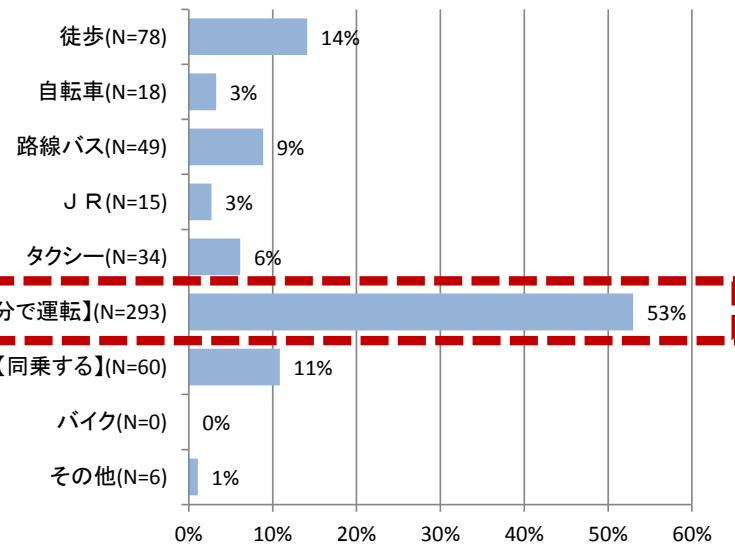
2. 調査結果

(3)通勤・通学の交通行動

- ◆夏期・冬期両季節において、「自動車【自分で運転】」が4割以上と最も高くなっている。
- ◆しかし、「自転車」は、冬期において極端に下がっている。



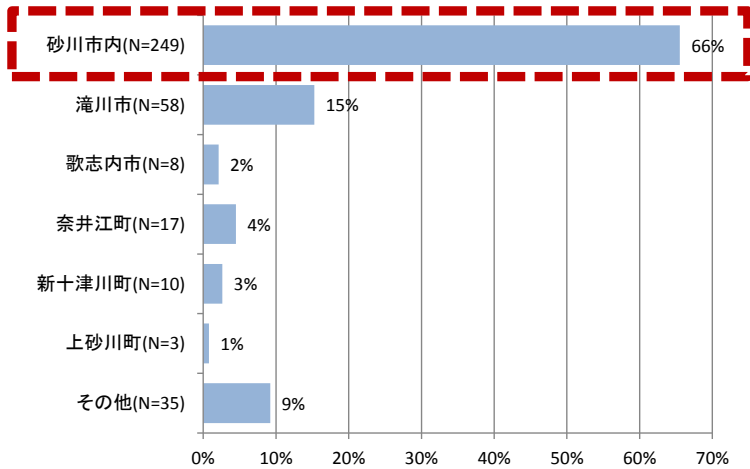
▲通勤・通学交通手段(夏期)
N=592
(複数回答)



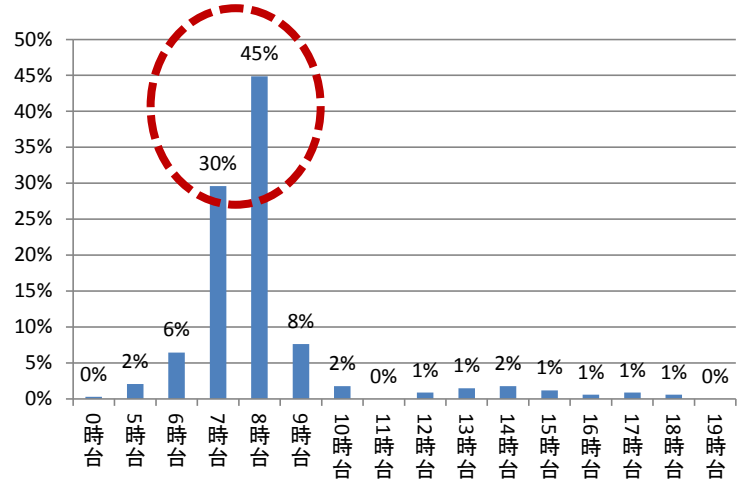
▲通勤・通学交通手段(冬期)
N=553
(複数回答)

(3)通勤・通学の交通行動

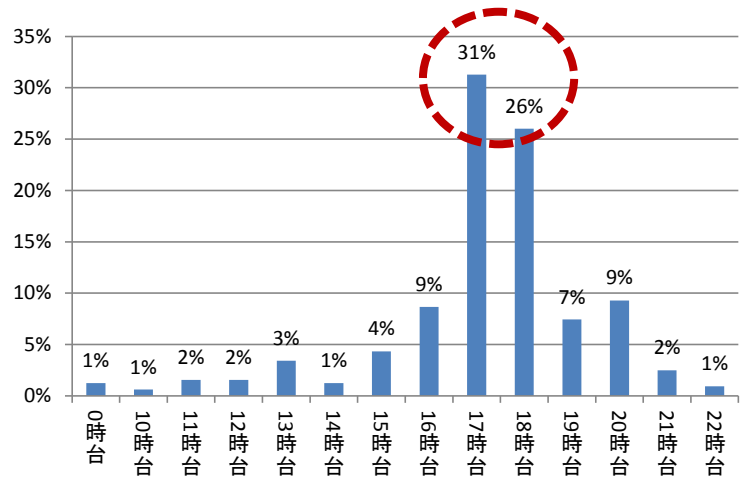
- ◆通勤・通学場所としては、「砂川市内」が66%と最も多い。
- ◆出発する時間帯としては、7時～8時台が多く、帰宅する時間帯は17時～18時台が多い。



▲通勤・通学場所
N=380



▲通勤・通学時の出発時間帯
N=341

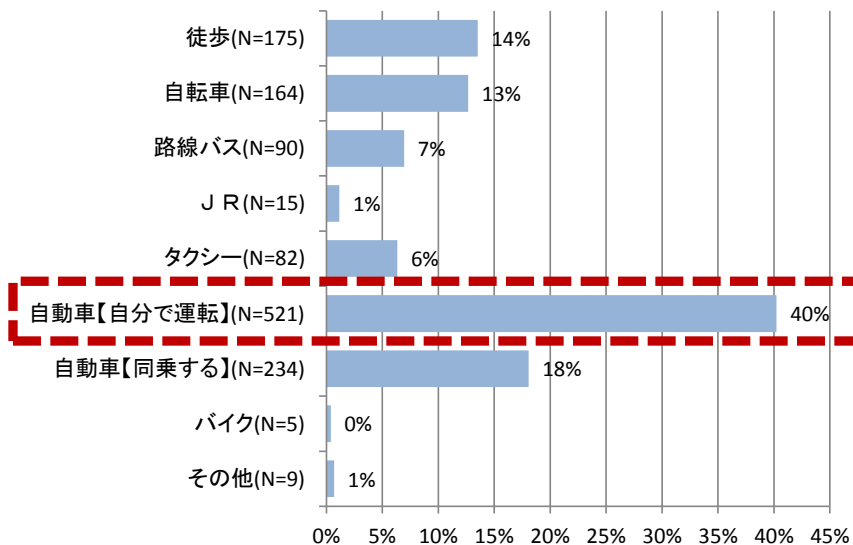


▲通勤・通学時の帰宅時間帯
N=323

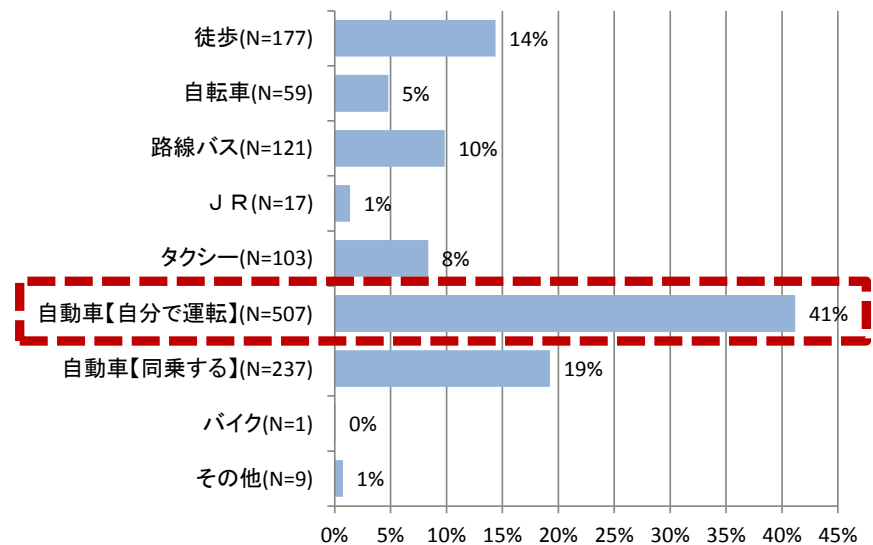
2. 調査結果

(4)買物時の交通行動

- ◆夏期・冬期両季節において、「自動車【自分で運転】」が4割以上と最も高くなっている。
- ◆「自転車」においては、冬期において極端に下がる傾向にあるが、「路線バス」や「タクシー」などの公共交通機関の利用割合は高くなる傾向にある。



▲買物時の交通手段(夏期)
N=1,295
(複数回答)

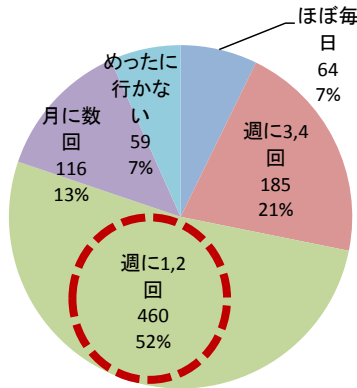


▲買物時の交通手段(冬期)
N=1,231
(複数回答)

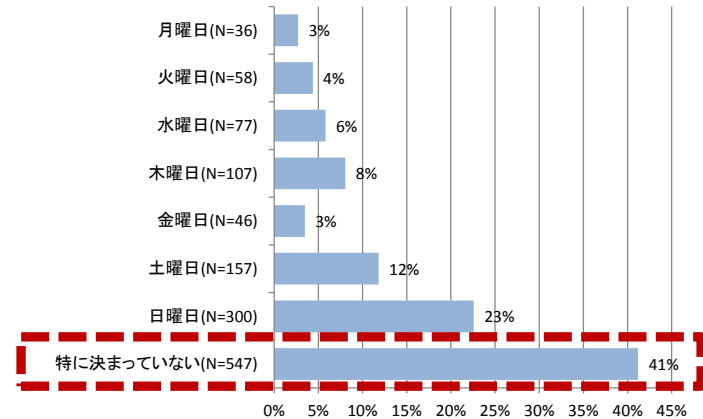
2. 調査結果

(4) 買物時の交通行動

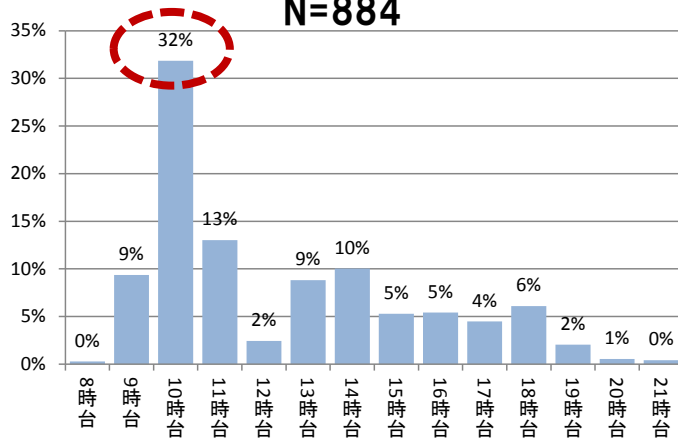
- ◆ 買物頻度は、「週に1,2回」が52%と最も多い。
- ◆ 買物に行く曜日は「特に決まっていない」が41%と最も多い。
- ◆ 買物に行く時間帯は、商業施設が開店する「10時台」が32%と最も多い。
- ◆ その際、滞在する時間としては、「1時間以内」が44%と最も多い。



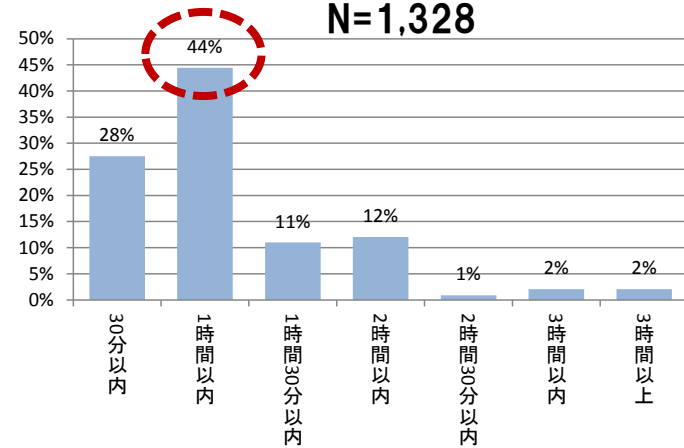
▲ 買物頻度
N=884



▲ 買物を行う曜日 (複数回答)
N=1,328



▲ 買物に行く時間帯
N=738

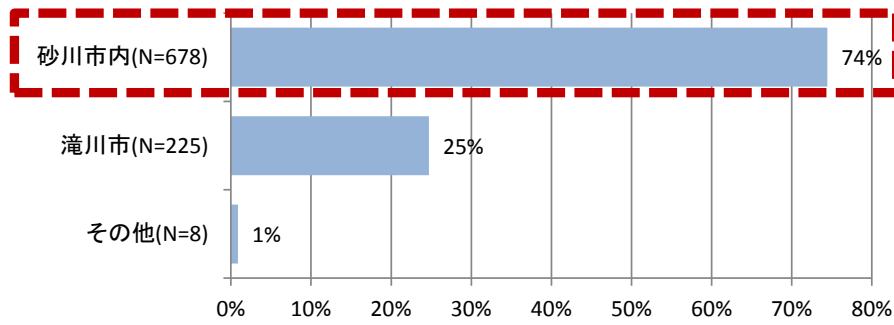


▲ 買物滞在時間
N=781

2. 調査結果

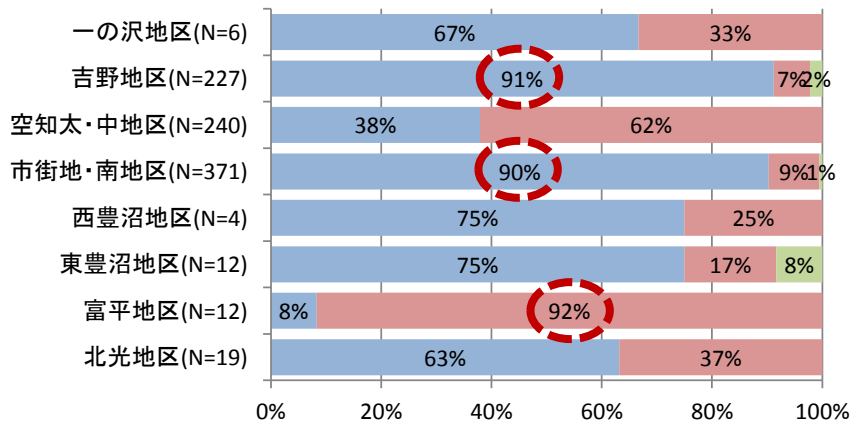
(4) 買物時の交通行動

- ◆買物場所としては、「砂川市内」での買物が74%と最も多い。
- ◆地区別に買物場所をみると、「吉野地区」「市街地・南地区」の住民が「砂川市内」で多く買物している様子が見える。また、「富平地区」の住民は、「滝川市」での買物を多く行っている様子が見える。
- ◆具体的な買物場所としては、「AiAi新砂川」や「コープさっぽろ砂川」「スーパーふじ砂川」を多く利用している。

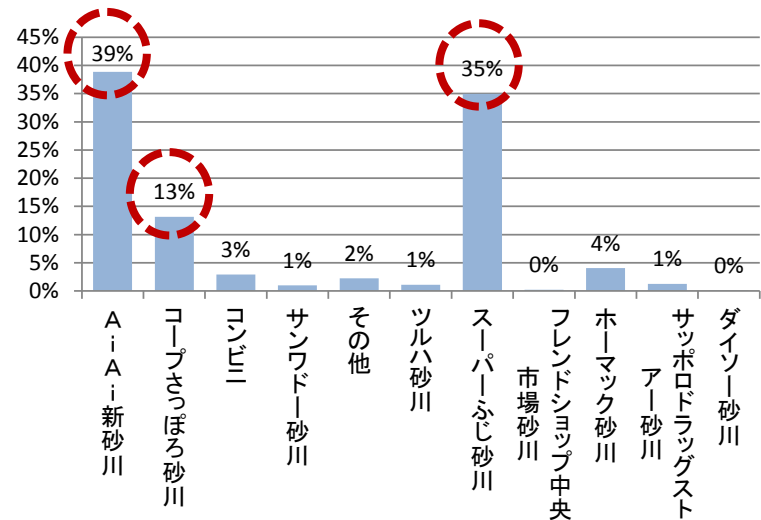


▲買物場所
N=911

■砂川市内 ■滝川市 ■その他



▲買物場所(地区別)
N=891

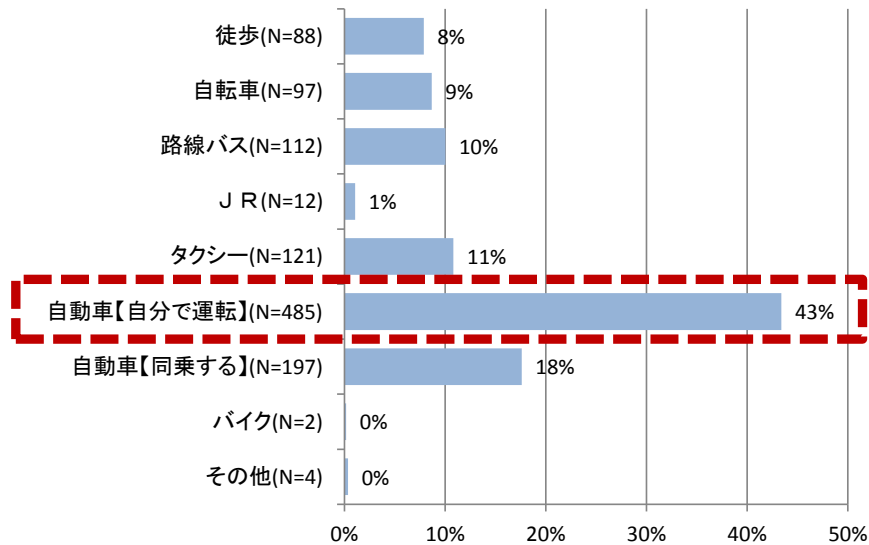


▲具体的な買物場所
N=790

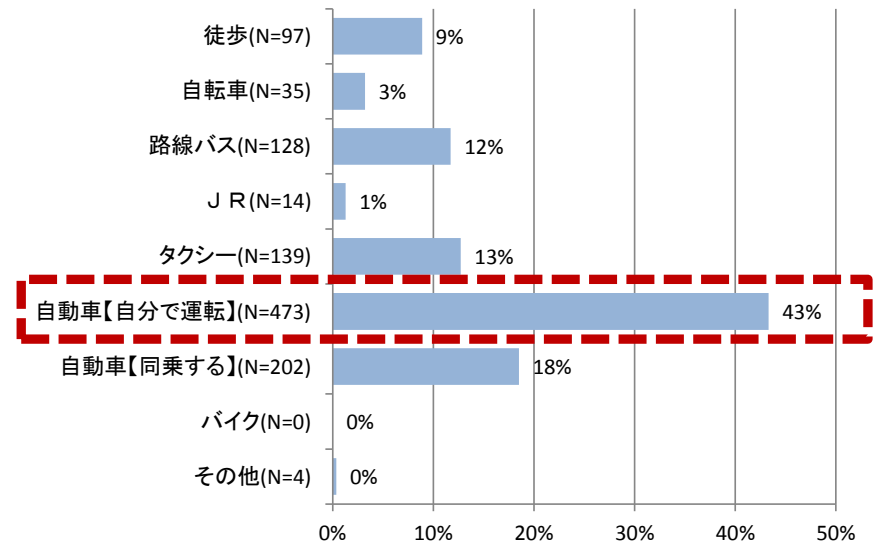
2. 調査結果

(5) 通院時の交通行動

- ◆夏期・冬期両季節において、「自動車【自分で運転】」が約4割と最も高くなっている。
- ◆「自転車」においては、冬期において極端に下がる傾向にあるが、「路線バス」や「タクシー」といった公共交通は高くなる傾向にある。



▲通院交通手段(夏期)
N=1,118
(複数回答)

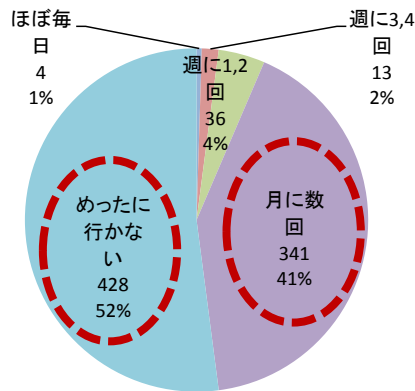


▲通院交通手段(冬期)
N=1,092
(複数回答)

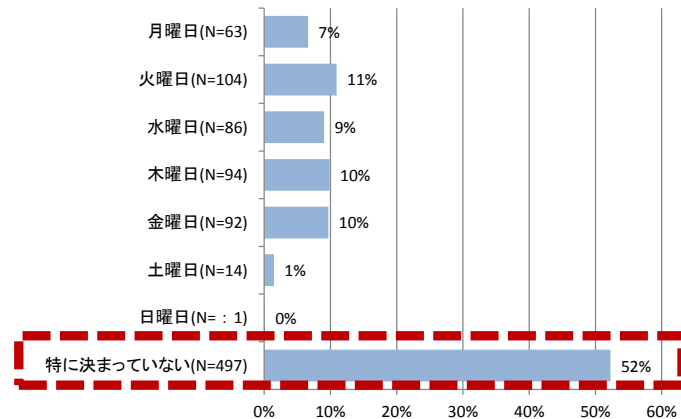
2. 調査結果

(5) 通院時の交通行動

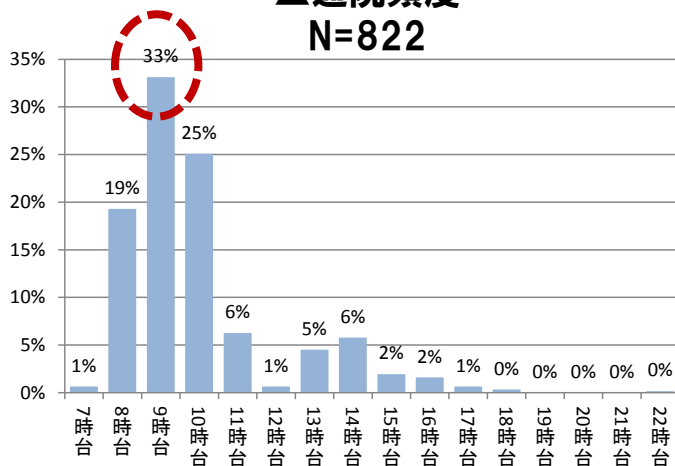
- ◆ 通院頻度は、「月に数回」や「めったに行かない」が多く、通院の頻度は高くない。
- ◆ 通院をする曜日は「特に決まっていない」が52%と最も多い。
- ◆ 病院に行く時間帯は、病院の受付時間である「9時台」が33%と最も多く、前後1時間も多くなっている。
- ◆ その際、滞在する時間としては、「1時間以内」が27%と最も多く、次いで「2時間以内」が多くなっている。



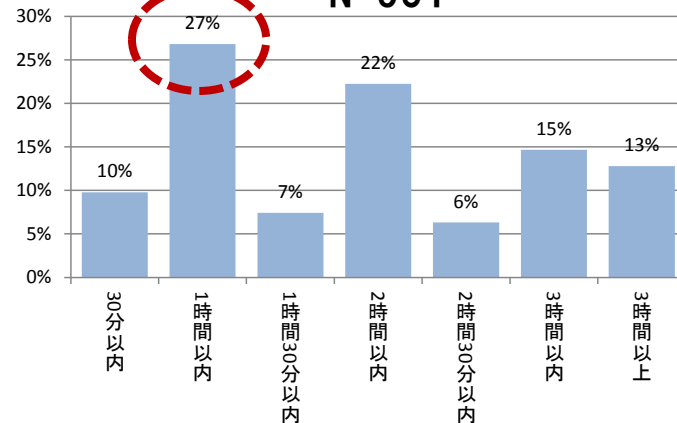
▲ 通院頻度
N=822



▲ 通院を行う曜日（複数回答）
N=951



▲ 通院に行く時間帯
N=622

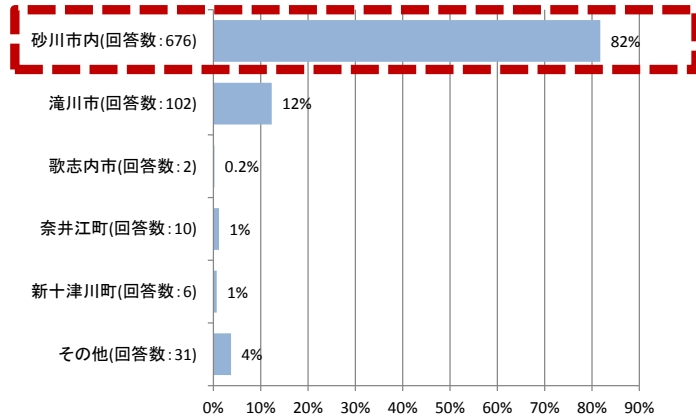


▲ 病院滞在時間
N=634

2. 調査結果

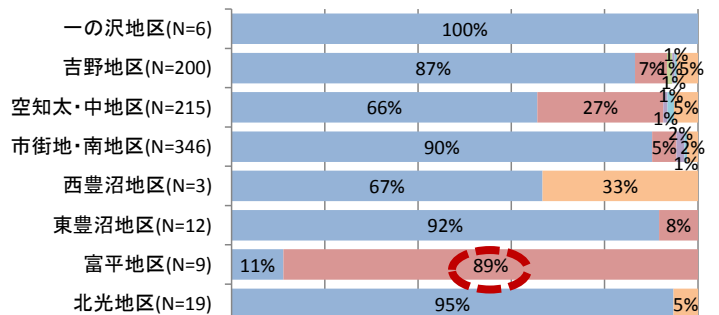
(5) 通院時の交通行動

- ◆ 通院場所としては、「砂川市内」での通院が82%と最も多い。
- ◆ 地区別に通院場所をみると、「富平地区」の住民が、「滝川市」に通院する割合の高さが特徴である。
- ◆ 具体的な通院場所としては、「砂川市立病院」が最も多い。

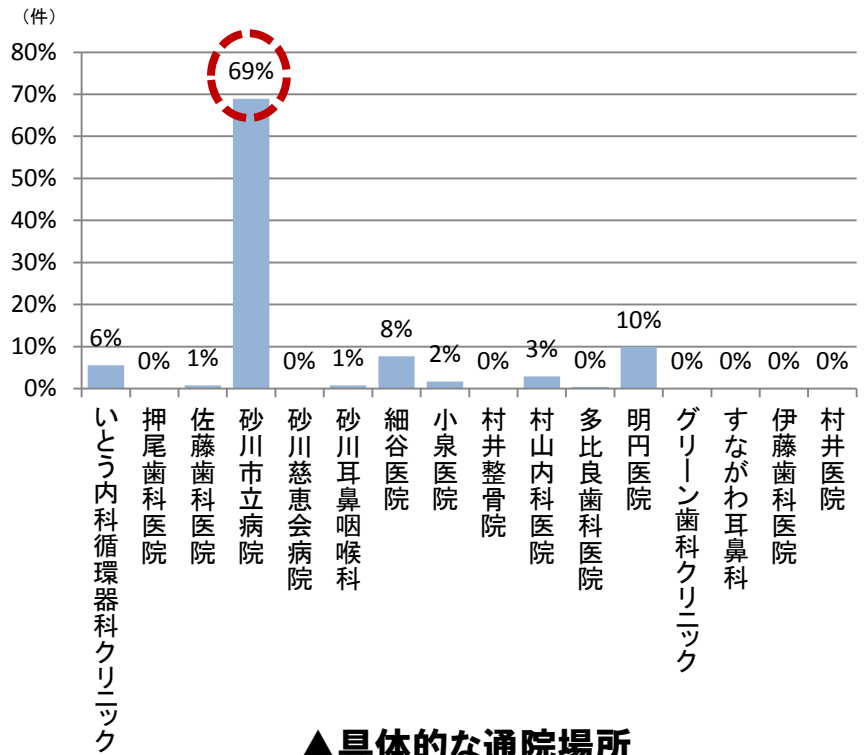


▲ 通院場所
N=827

■ 砂川市内 ■ 滝川市 ■ 歌志内市 ■ 奈井江町 ■ 新十津川町 ■ その他



▲ 通院場所(地区別)
N=810

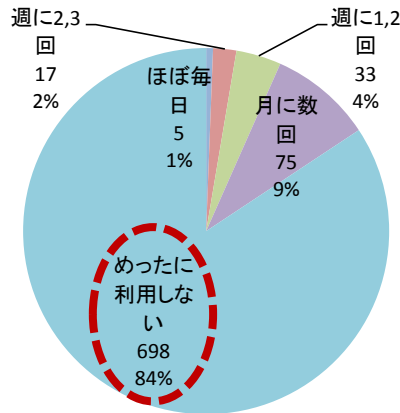


▲ 具体的な通院場所
N=522

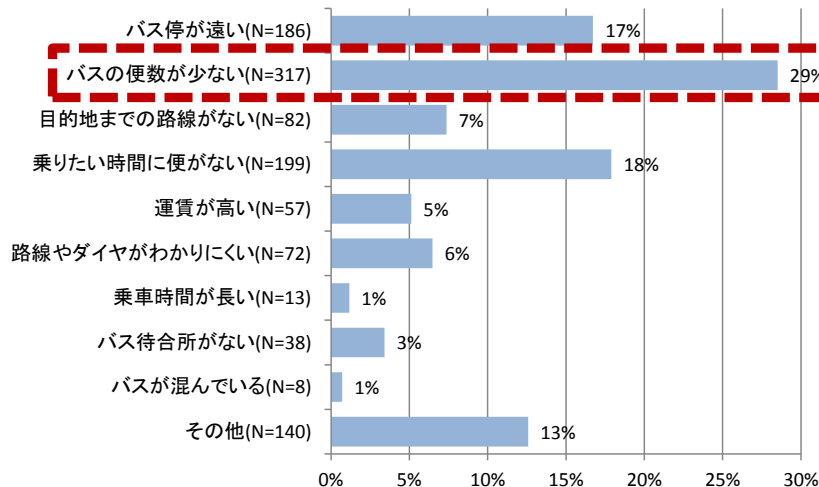
2. 調査結果

(6)砂川市のバス交通について

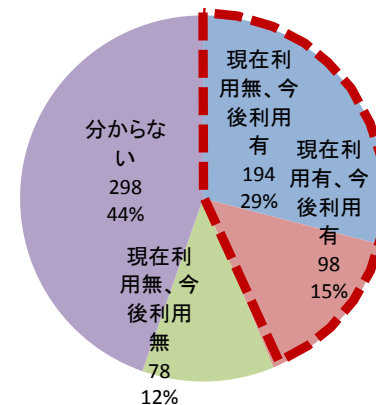
- ◆路線バスの利用回数は、「めったに利用しない」が84%と最も多い。
- ◆現状の路線バスの問題点としては、「バスの便数が少ない」が29%と最も多くなっている。
- ◆問題点が解消された場合の利用意向としては、今後利用するとした意向が44%となっている。



▲路線バスの利用回数
N=828



▲路線バスの問題点 (複数回答)
N=1,112

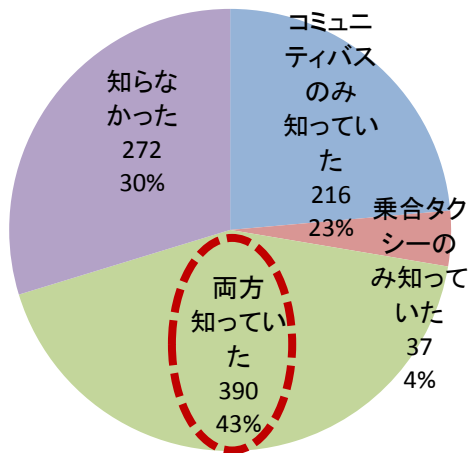


▲問題点解消時の利用意向
N=668

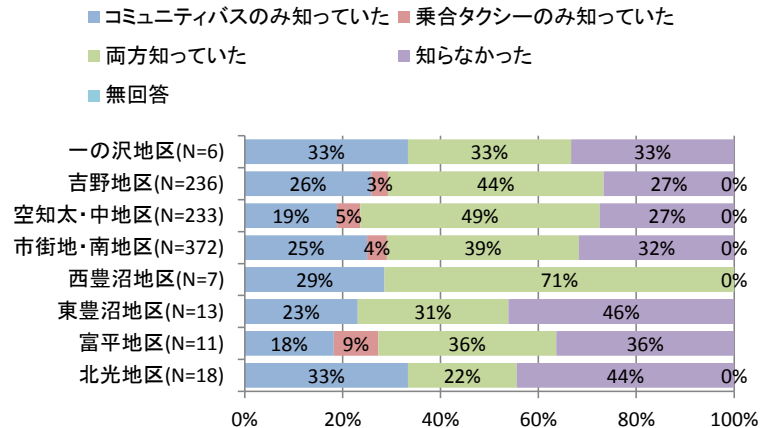
2. 調査結果

(7)9月実施の実証調査運行について

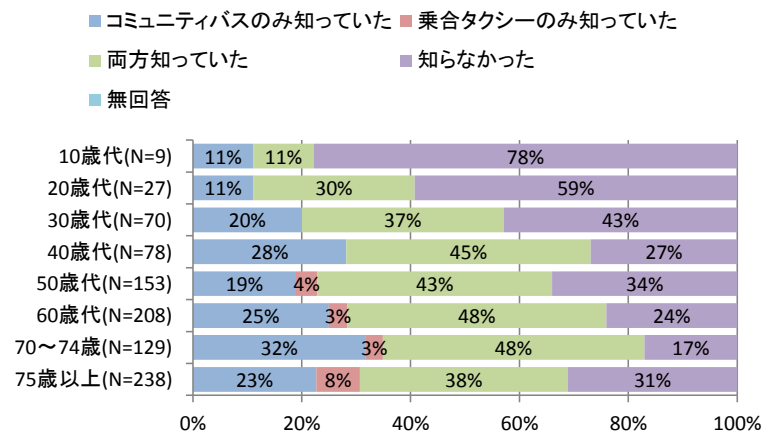
- ◆実証調査運行の認知度は、コミバス、乗合タクシーの運行を「両方知っていた」と回答した割合が43%と最も高い。
- ◆地区別では、コミュニティバス・乗合タクシーの認知度はどの地区においても高くなっている。
- ◆年代別では、年代が高くなるにつれて、認知度が高い傾向が見られる。



▲実証調査運行の認知度
N=915



▲実証調査運行の認知度(地区別)
N=896

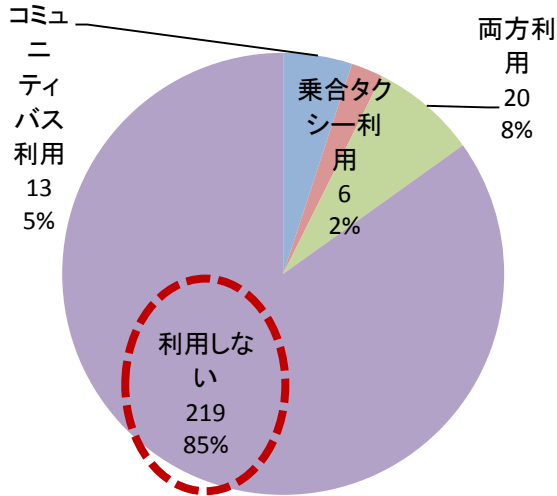


▲実証調査運行の認知度(年代別)
N=912

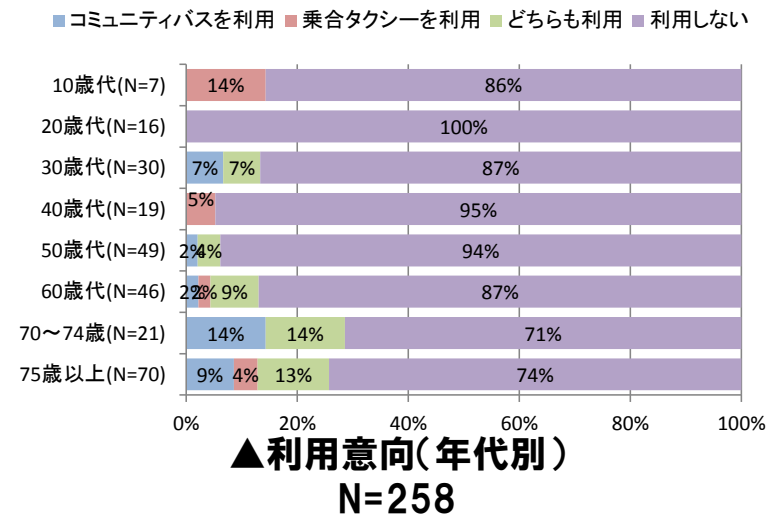
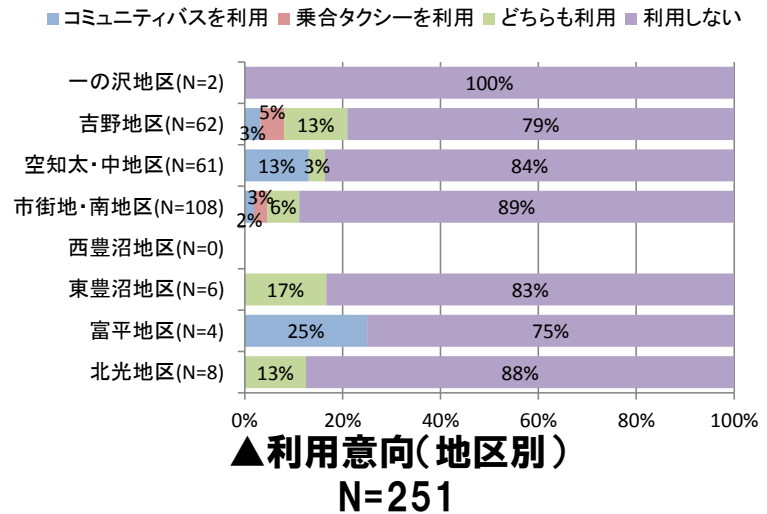
2. 調査結果

(7)9月実施の実証調査運行について

- ◆実証調査運行を知らなかった回答者を対象に実証調査運行を知っていた場合の利用意向については、「利用しない」とした回答が85%と大半を占めている。
- ◆地区別では、ほとんどの地区で「利用しない」が多く占めているが、富平地区や空知太・中地区で「コミュニティバスを利用」とした意向がわずかに存在する。また、年代別では、高齢になるにつれて利用意向が高くなる傾向にある。



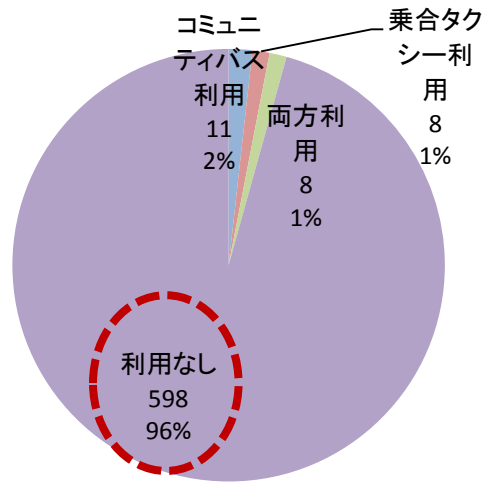
▲実証調査運行を知っていた場合の利用意向
N=258



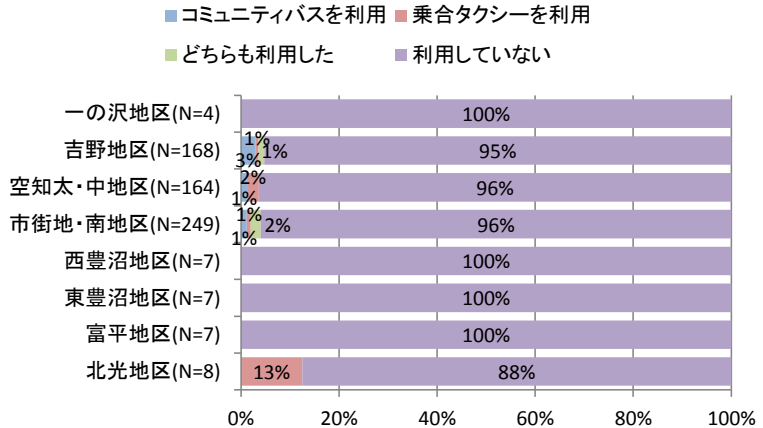
2. 調査結果

(7)9月実施の実証調査運行について

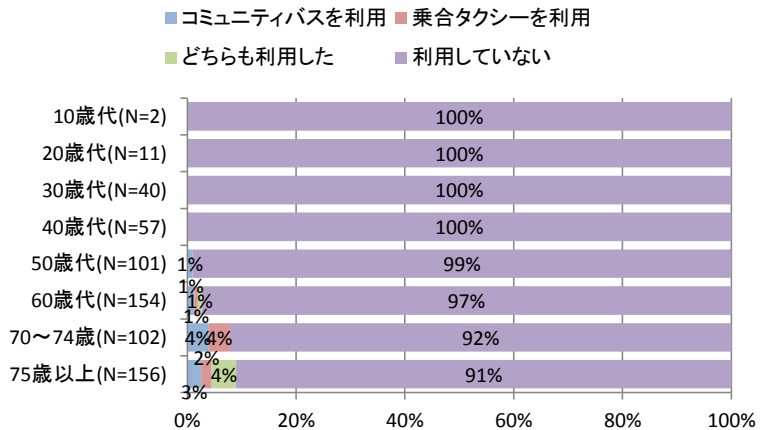
- ◆実証調査運行の存在を知っていると回答した回答者の利用状況は、96%が「利用していない」と回答した。
- ◆地区別では、吉野地区や空知太・中地区、市街地・南地区、北光地区では利用がみられた。
- ◆年代別に利用状況を見ると、50歳代以上の利用者が利用している様子がうかがえる。



▲実証調査運行の利用状況
N=625



▲実証調査運行の利用状況(地区別)
N=614

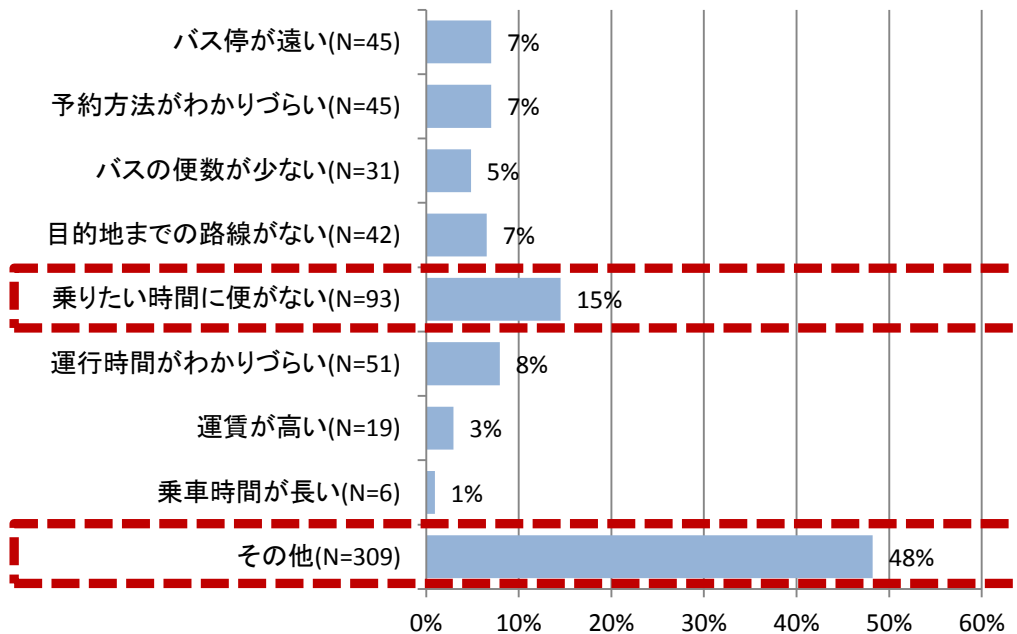


▲実証調査運行の利用状況(年代別)
N=623

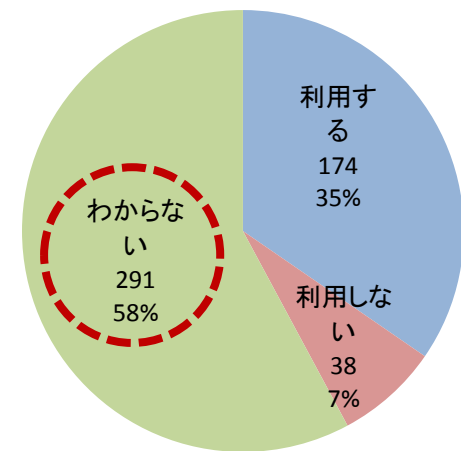
2. 調査結果

(7)9月実施の実証調査運行について

- ◆利用しなかった理由として、「その他」が48%と最も多い。次いで「乗りたい時間に便がない」が15%と多くなっている。
- ◆利用しなかった理由が解消された場合の利用意向としては、「わからない」が58%と最も多く、次いで「利用する」が35%と多くなっている。



▲利用しなかった理由
N=641

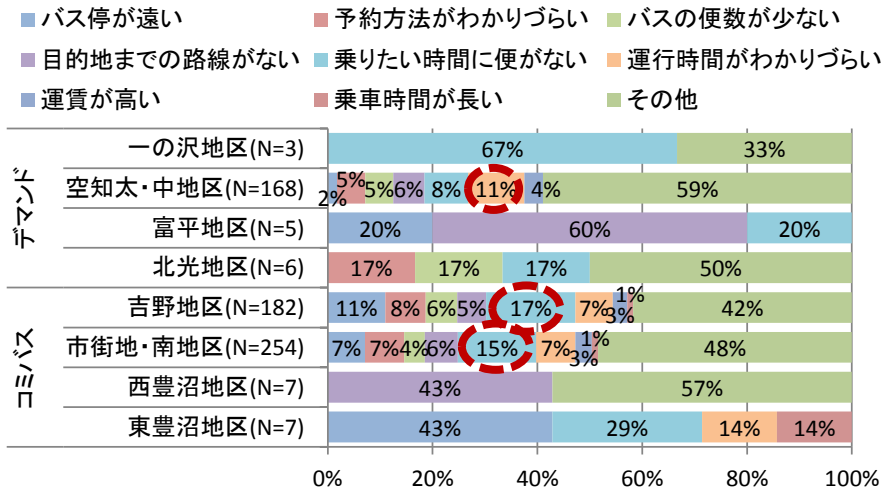


▲利用しなかった理由解消時の利用意向
N=503

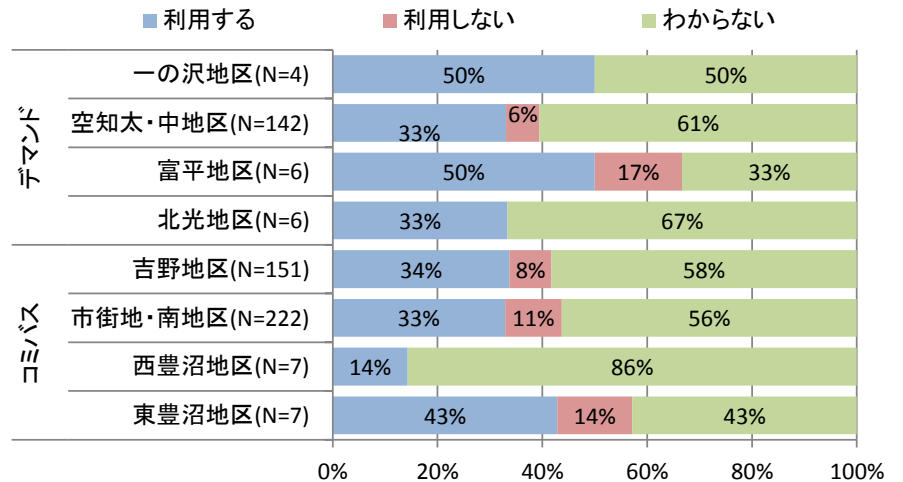
2. 調査結果

(7)9月実施の実証調査運行について

- ◆利用しなかった理由を地区別にみると、全体として「その他」の項目が大半をしめているが、デマンドタクシーを運行した砂川市北側では、「運行時間がわかりづらい」とした項目が多く、コミュニティバスを運行した南側では、「乗りたい時間に便がない」が多くなっている。
- ◆利用しなかった理由解消時の利用意向としては、「わからない」が多くなっているが、「利用する」とした意向も多くなっている。



▲利用しなかった理由(地区別)
N=632



▲利用しなかった理由解消時の利用意向(地区別)
N=545

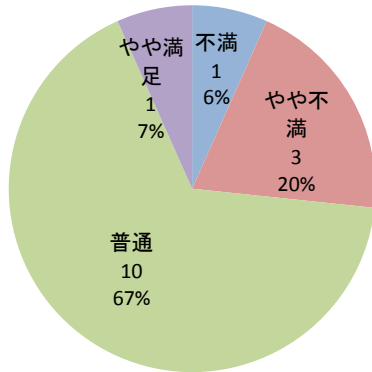
2. 調査結果

(7)9月実施の実証調査運行について

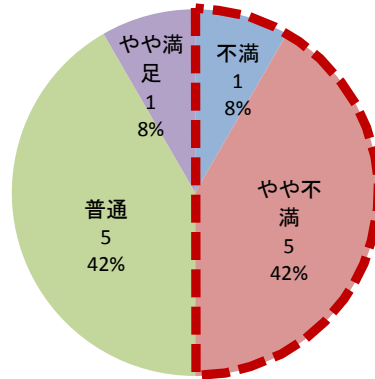
◆コミュニティバス実証運行の満足度は、「普通」とした回答が多くなっているが、「運行便数」や「運行時間帯」に不満とした回答が比較的高くなっている。

【コミュニティバス】

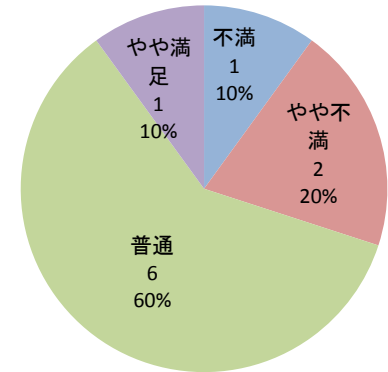
単位：
回答数 ⇒ 「件」
回答者数 ⇒ 「人」



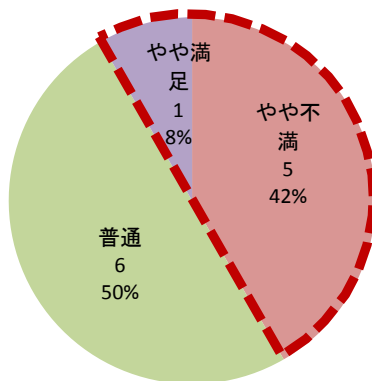
▲運賃における満足度
N=15



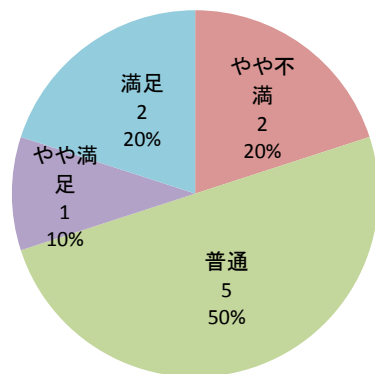
▲運行便数における満足度
N=12



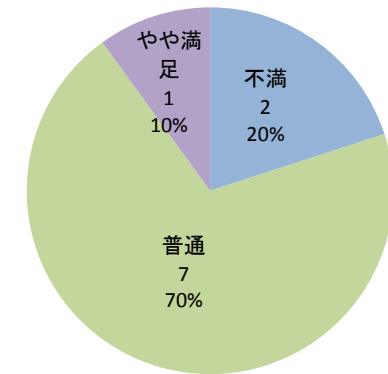
▲運行エリアにおける満足度
N=10



▲運行時間帯における満足度
N=12



▲バス停位置における満足度
N=10

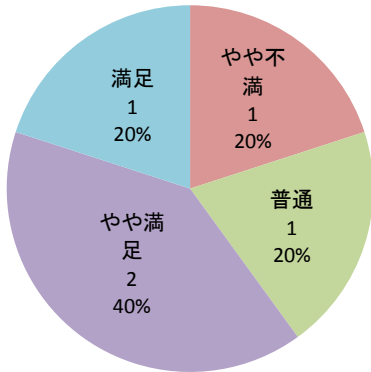


▲総合満足度
N=10

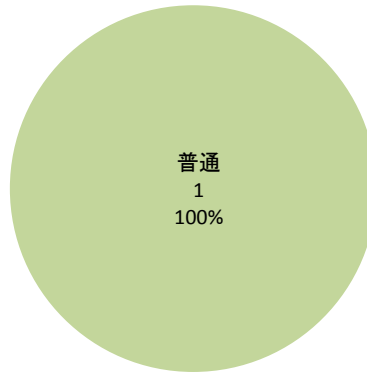
(7)9月実施の実証調査運行について

◆運賃において、やや満足とする回答が最も多い。その他においては、回答数が1であることから、比較・分析はできない。

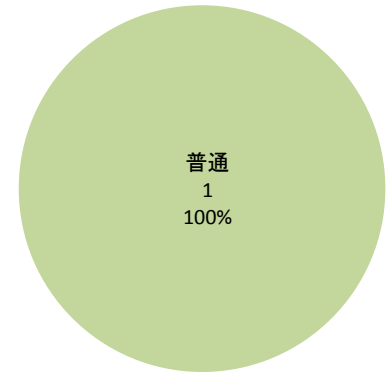
【乗合タクシー】



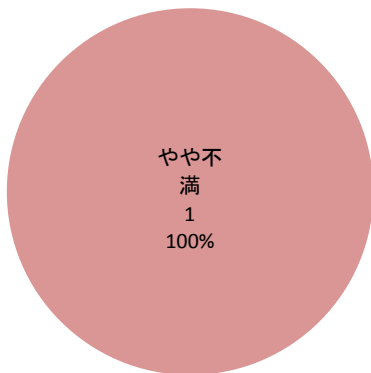
▲運賃における満足度
N=5



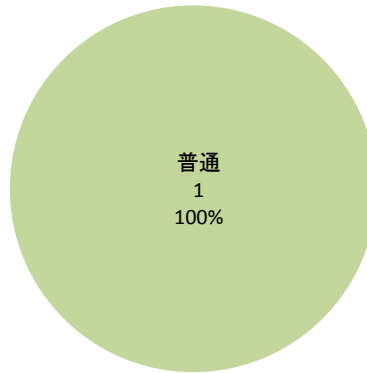
▲運行便数における満足度
N=1



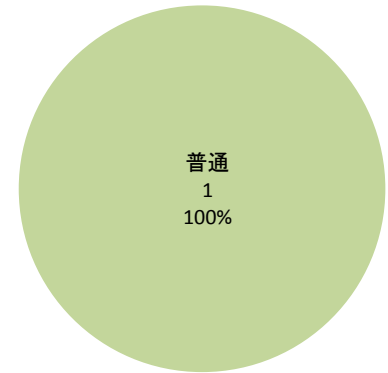
▲運行エリアにおける満足度
N=1



▲運行時間帯における満足度
N=1



▲バス停位置における満足度
N=1



▲総合満足度
N=1

2. 調査結果

(8) 調査結果まとめ

① 自動車依存が高い

- ◇免許を保有しており、自由に運転できる自動車を保有している割合は、65%と高くなっている。(P4)また、通勤・通学や買物、通院時における**主な交通手段も自動車での移動が約4割以上と高い状況**となっている。(P5、7、10)
- ◇しかし、自動車の運転が困難になった際の移動手段としては、**バスやタクシーといった公共交通の利用意向が高くなっている**。(P4)

② 移動先は大半が砂川市内

- ◇通勤・通学や買物、通院時の**移動先としては、砂川市内が多くなっている**。(P6、9、12)
- ◇主な買物先としては**AiAi新砂川やコープさっぽろ砂川、スーパーふじ砂川**が多い。(P9)通院先としては、**砂川市立病院が最も多く**、明円医院や細谷医院、いとう内科循環器科クリニック、村山医院等への通院もみられる。(P12)

③ 砂川市内を運行するバスの問題点は便数に関する問題が多い

- ◇路線バスの問題点としては、バスの便数が少ないや乗りたい時間に便がないといった**便数に関する不満が多くなっている**。また、バス停が遠いといった不満も多くなっている。(P13)
- ◇しかし、上記のような**不満が解消された際の利用意向は、44%と多くなっている**。(P13)

④ 9月実証調査運行は認知度は高いが、利用は少ない

- ◇9月実施の実証調査運行の認知度は、両方の運行を知っていたと回答した割合は43%となっている。(P14)
- ◇しかし、実証調査運行を利用したと回答した割合はコミバスのみが2%、乗合タクシーのみが1%、両方利用が1%と少ない状況となっている。(P16)
- ◇実証調査運行の問題点は、**乗合タクシーを運行した砂川市北側で運行時間がわかりにくい**という問題点があり、**コミュニティバスを運行した南側では乗りたい時間に便がない**という問題点が挙げられる。(P20)

⇒**2月実証調査運行の方法の改善、新たな公共交通の必要性及び持続可能なバス交通の確保に向けたバス路線やバス停の見直しを検討**